

まつだいら ゆういちろう

自由民主党・無所属 文京区議団
建設委員会 委員 災害対策調査特別委員会 委員

2020年 vol.1

松平雄一郎

活動レポート とともに区民と。



新型コロナウイルス感染症 への対応について

新型コロナウイルス感染症の発生が各地にて報告されております。感染の拡大防止に
関して、区民の皆様には様々なご理解とご協力を頂いている事に、心から感謝申し上げます。
最新情報は文京区ホームページにて随時更新しますので、右記からご参照下さい。

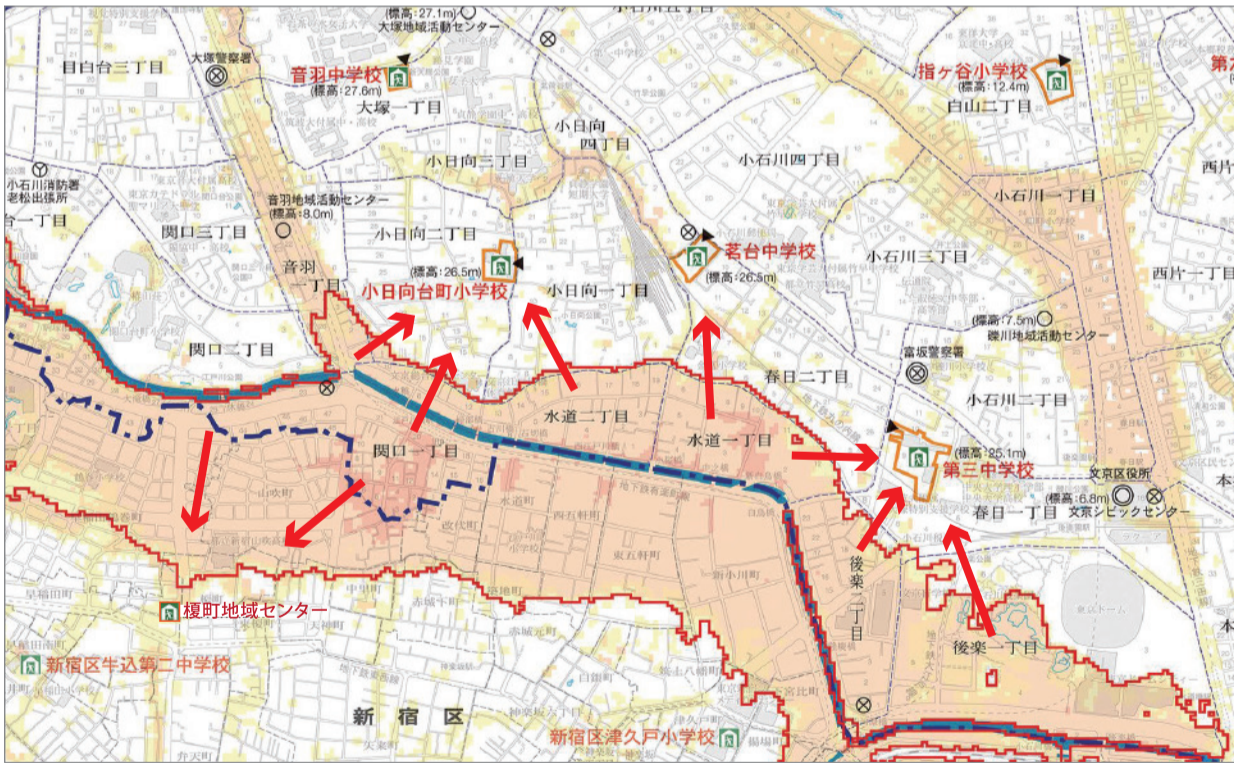
文京区 検索



松平雄一郎は住みやすく、安心・安全で、 災害に強いまちづくりを進めています。

昨年4月に行われた文京区議会議員選挙にて、多くの皆様からの負託を受け、初当選を果たす事ができました。
ご支援頂いた皆様に、心から感謝申し上げます。
子どもの笑い声を大切に、高齢者を敬い、未来の日本を支える働く世代として、精一杯働いて参ります。
引き続きのご支援、ご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

松平雄一郎



▲関口・水道・後楽地域は神田川が氾濫すると1~5mの浸水が予想されています。(文京区水害ハザードマップより引用 総雨量690mm・最大153mm/hを想定)

いざという時、どこに逃げますか?



特集 神田川の水害対策について

最近異常気象という言葉がよく聞かれるようになり、昨年の台風15号、19号でも日本各地で大きな被害を出しました。今年もまた昨年同様、もしくはそれ以上の大きな台風がやってくるかもしれません。大雨が降った時、あなたのご自宅は安心ですか?万が一の時、あなたはどこに逃げますか?

各自治体で公表している「ハザードマップ」を確認すれば、災害時の被害の予測や、避難先の場所が分かります。もちろん文京区でも公表しています。左に文京区ハザードマップの一部を掲載しておきましたので、ぜひ参考にして下さい。実際にご自宅や職場の状況を確認したことがない方は、一度見て頂ければと思います。ハザードマップはお近くの地域活動センターや図書館、区役所防災課窓口にて配布しています。またインターネットで「文京区 ハザードマップ」と検索すればすぐに見ることが出来ます。

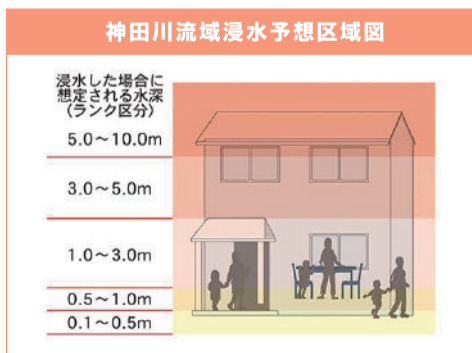
文京区内において、水害の危険性が特に高い地域は、神田川付近の後楽・水道・関口の辺りになります。ご自宅が雨風による被害や浸水の可能性がある場合は、避難所として指定される**第三中学校**、**茗台中学校**、**小日向台町小学校**、**新宿区榎町地域センター**他への避難、またはお近くの**頑丈な3階建ての以上のマンションやビル**への避難をお願いいたします。マンションに住んでいるお知り合いの方に、事前にご相談しておくのもいいかもしれません。雨風が強くなってきたけれど、自分は避難した方がいいのかな...?と迷うこともあると思います。文京区では皆さんがとるべき行動を5段階に分けた「警戒レベル」を公表しますので、それを参考にしてください。覚えておいて頂きたいのは、**警戒レベル3で「避難準備、高齢者などは避難」、4で「全員避難」**です。こうした文京区から様々な防災情報は、区の公式ホームページ、ツイッター、フェイスブック、防災メール、文京区民チャンネル(CATV)、屋外スピーカーなど様々な方法でお知らせいたします。

平成20年に環状七号線地下貯水池が完成し、神田川の氾濫は少なくなりましたが、被害が完全なくなる訳ではありません。災害の時に備えた準備や心がけを、ご家族や近所の方と、是非話し合ってみてください。

文京区「災害情報のお知らせ方法」はこちら▶



警戒レベル	取るべき行動・情報
5	命を守る最善の行動
4	全員避難
3	避難準備 高齢者等は避難 (障がい者・病気やケガをしている方)
2	避難行動の確認
1	災害への心構え



高 緊急の度合い



2 げみち(逃げ道)確認!
3 と(水戸)黄門様は避難!
4 の中(世の中)みんな避難しよう!

なんていう覚え方も
いいかもしれませんね。

文京区「災害情報のお知らせ方法」はこちら▶

文京区の人口は20年間増え続ける!?

1 人口構造の変化について

日本の総人口は増加を続けてきましたが、いよいよ人口減少、超高齢社会に突入しました。ところが東京23区への人口の一極集中は今後も続き、文京区でも約20年後まで人口が増え続けるとの見込みです。65歳以上の高齢者は加速度的に増えていきますので、病院のベッド数の不足や、介護人材の不足や施設の不足は大きな問題です。

特別養護老人ホーム等の施設の整備や改修を行うと同時に、かかりつけ医の普及をすすめ、ご自宅での「医療」「介護」の必要性に備えた、高齢者への家庭訪問などの見守り事業を推進していきます。

さらに、14歳以下の子供の世代もまだまだ増えていく予想となっています。今後のさらなる「保育園や育成室の不足」「小学校の教室の不足」が懸念されます。私立認可保育所を中心に保育施設の整備や、必要性の高い地域への育成室の整備を今後も進めていきます。



あの再開発の話、どうなっているの?

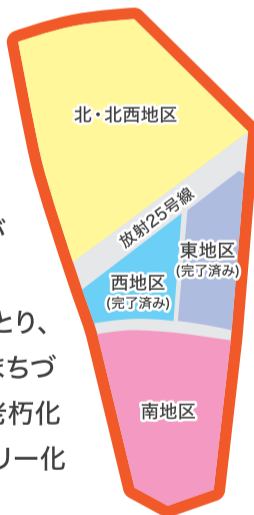
2 後楽二丁目の再開発事業について

後楽二丁目地区では、都道放射25号線と2つのビルがすでに完成しましたが、地区計画には入っているものの、まだ再開発に着手出来ていないエリアが残っています。

狭い道が残っていて、木造の建物が密集している場所もあります。例えばこういった地域に火事が起きた時、救急車や消防車などが通れず、また延焼の被害も大きくなってしまいます。

また神田川に近いので、大型台風に備えた風水害への強化も進めていかなければなりません。再開発は長年その地域に愛着を持って生活してきた方々、全員の理解を得るのは難しいかもしれません。しかし、このような危険を減らせると同時に、非常用電源の設置や、飲料用貯水タンク、備蓄倉庫、避難所の整備など、防災に強いまちづくりを行う事ができます。さらにバリアフリーや無電柱化も実現でき、高齢者や障がい者、ベビーカー利用者の皆さんが歩きやすい、住みやすい街をつくる事ができます。

区民、行政、開発事業者が連携をとり、賑わいのある後楽二丁目の新しいまちづくりを支援してまいります。そして、老朽化した飯田橋歩道橋の整備、バリアフリー化の実現を訴え続けてまいります。



電柱がなくなると、なぜ良いの?

3 無電柱化について

文京区内の国道・都道・区道では、それぞれ電柱を地中に埋める「無電柱化」を進めています。区道においては、文京区の予算を使い無電柱化を進めていますが、電柱を地中化するためには、多くの予算と時間がかかるため、なかなか整備が進んでいません。現在、区道はどのくらいの割合で無電柱化されているか?というとは実はずか「2%」です。

無電柱化には沢山のメリットがあります。景観がよくなるから?それだけではありません。電柱がなくなれば、歩道が広くなり、ご高齢の方や障がいを持った方、ベビーカーも通りやすくなります。さらに災害の時にも電柱が倒れ、道路をふさいでしまったり、切れた電線で感電の危険を無くすることもできます。

現在、区道においては、日医大つつじ通りと巻石通りの2路線の無電柱化を、概ね6~7年後の完了を目指し事業を進めています。また令和2年度から、災害時の緊急輸送道路と避難所までの短い区道を、優先的に無電柱化を進めるための調査を行っていく方針です。今後もさらなる無電化の推進を訴えていきます。

区内に住む外国の方が困っている事って?

4 外国人人口増加への対応について

昨年の調査では、文京区には約11,000人の外国人の方が暮らしています。これは6年前と比べると約4,000人増えています。おおよそ文京区民の20人に1人の割合になります。文京区だけではなく、日本社会全体として急速に外国人の割合が増えています。外国人の方にも住みやすいまちづくりやサービスを提供することは、今後大切な課題です。

現在、外国人の子ども達の中には、日本語がわからなくて学校での学習に挫折してしまったり、家庭の経済事情から不登校や不登学になるケースも少なくありません。また子どもだけでなく、子育て中の外国人のお母さんが、言葉や文化の違いが原因で、近隣の地域から孤立してしまう問題もあります。

公立学校等でのさらなる日本語指導員の確保や、指導講習の時間の延長、外国人に分かりやすい「やさしい日本語」の導入など、行政サービス向上を引き続き進めていきます。



代表質問の全文はこちらから
<http://ymatsudaira.com/teirei-201911/>

障がい者の方が働きやすい職場とは?

5 障がい者の就労について

文京区には都立文京盲学校があります。あんま・マッサージ・指圧・鍼(はり)・灸(きゅう)などの理療の国家資格を取り、卒業後は企業のヘルスキーパーとして、社員の健康増進のために活躍されている方も多く、民間企業への就職の希望、意欲が高まっています。

現在、法律において民間企業は2.2%、国・地方公共団体は2.5%の割合で障がい者雇用しなければなりません。しかし中央官庁等の障がい者雇用の水増し問題が発覚したり、離職率の高さ、職場への定着の難しさが指摘されています。

文京区役所の障がい者雇用率は2019年6月現在で、法定雇用率2.5%をわずかに下回る2.45%でした。今後、さらなる計画的な採用や、新規採用職員には上司や同僚が積極的にフォローし、働きやすい環境の整備を進めていきます。将来的に訪れる文京区の人口減少社会に向けて、障がい者の方の力がより一層大切になると思います。

みんなが活躍する全員参加型の社会を目指そう!

6 最後に

人生は人それぞれであり、価値観も人それぞれです。誰もが生きがいを感じられる社会を創ることが最も大切だと思います。女性も男性も、お年寄りも子供も若者も、一度失敗を経験した方も、障がいや難病のある方も、そして日本で暮らす外国人も、すべての人々が、家庭や職場や地域で、あらゆる場で活躍できる、文京区民全員参加型の社会を実現する事が、私は大切だと感じています。

全員参加型の社会の実現には、輝く女性や、元気な高齢者や、外国人の皆さん、そして障がい者の方の力が、より一層大切になってきます。他の自治体や企業の、素晴らしい手本となるような文京区と一緒に目指しましょう!



文京区議会議員
松平 雄一郎
まつだいら ゆういちろう

会派：自由民主党・無所属 文京区議団
所属：建設委員会 委員
災害対策調査特別委員会 委員
平成30年度決算特別委員会 委員
党：自由民主党東京都支部連合会 青年部
自由民主党文京総支部 青年部

プロフィール

- 昭和54年7月東京生まれ
- 都立新宿高校 卒業、成蹊大学 経済学部 卒業
- 音楽レコード会社、環境コンサルティング会社勤務を経て、辻清人事務所へ入所。
- 衆議院議員 辻清人秘書を5年間勤める(文京区担当)
- 家族は妻と娘2人(9歳と5歳)
- TOKYO 自民党政経塾 卒業生
- 文京区後楽町会 役員 渉外・広報担当

松平雄一郎公式サイト
<http://ymatsudaira.com/>



区政に関するご相談、何でもお伺い致します。お気軽にご連絡ください。

